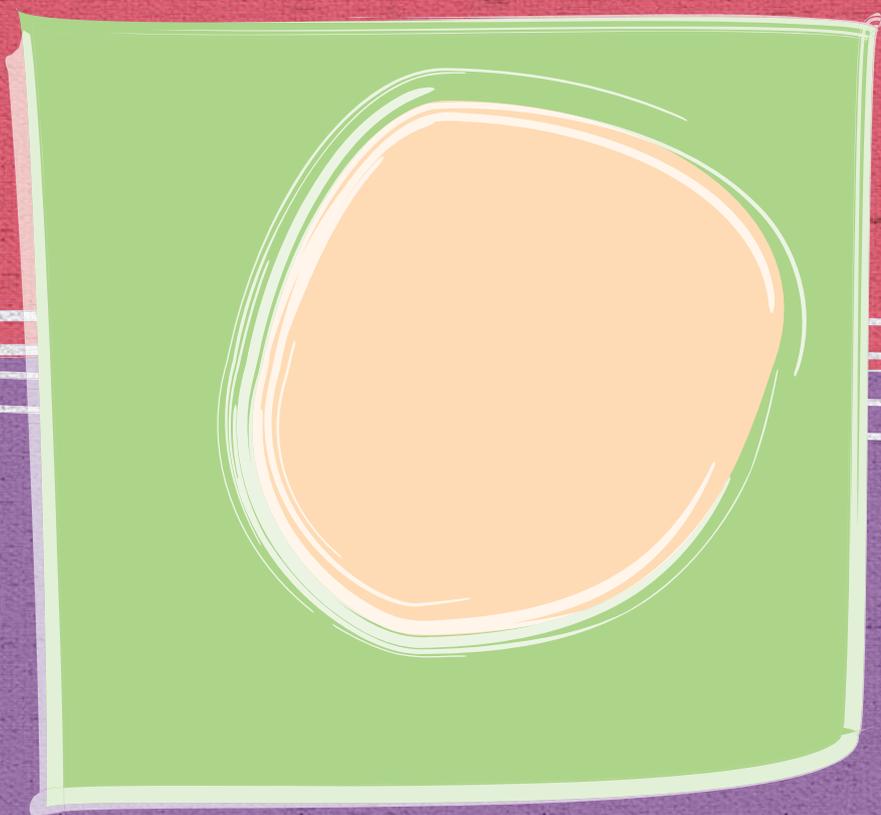


2010

Vol.612

11

The Record



洋楽の魅力と新たな可能性を語る



一般社団法人 日本レコード協会



Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
洋楽の魅力と新たな可能性を語る.....	3
PICK UP.....	9
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISK.....	14

10/6 掲示板サイトで 海賊版音楽DVD販売の 被疑者を逮捕

10月6日、山形県警察本部および山形県天童警察署は、インターネット上の掲示板サイトを悪用して権利者に無断で複製した音楽DVDを販売していたとして、東京都葛飾区在住の41歳の男性を著作権法違反の容疑で逮捕した。

この男性は、インターネット上の掲示板サイトを利用して注文を募り、エイベックス・エンタテインメント(株)、(株)ジャニーズ・エンタテインメントおよび(株)ジェイ・ストームが権利を有する市販DVDの海賊版を、無断で複製されたものであることを知りながら販売していた。

10/6 掲示板サイトで 海賊版音楽DVD販売の 被疑者を送致

10月6日、愛媛県警察本部および松山東警察署は、インターネット上の掲示板サイトを悪用して権利者に無断で複製した音楽DVDを販売していたとして、愛媛県松山市在住の18歳の女性を著作権法違反の容疑で松山地方検察庁に送致した。

この女性は、インターネット上の掲示板サイトを通じて注文を募り、エイベックス・エンタテインメント(株)が権利を有する市販DVDを無断で複製し、今年3月中旬と5月下旬の2度にわたり販売していた。

10/7 ファイル共有ソフト 「Share」を悪用した不正 アップロードで容疑者送致

10月7日、北海道旭川方面留萌警察署は、ファイル共有ソフトを悪用して権利者に無断で音楽ファイルをアップロードしていたとして、東京都墨田区在住の男性(44歳)を著作権法違反の容疑で追加送検した。

この男性は、今年の8月18日頃、(株)ソニー・ミュージックレコーズが権利を有する音楽を、ファイル共有ソフト「Share」を利用して権利者に無断でアップロードし、不特定多数がダウンロードできる状態にしていた。なお、この男性は既にわいせつ画像を同じくファイル共有ソフト「Share」を利用して不特定多数がダウンロードできる状態にしていたとして、9月13日に同署に逮捕され、旭川地方検察庁に送致されている。



吉田敬氏 逝去

当協会理事の吉田敬氏（株式会社ワーナーミュージック・ジャパン代表取締役社長兼 CEO）が、10月7日に逝去されました。

吉田氏は、2001年に株式会社デフスタレコーズ代表取締役に就任、2003年に株式会社ワーナーミュージック・ジャパン代表取締役社長に就任されました。

当協会におきましては、2004年4月に理事就任、2010年5月に副会長就任、また2007年度より日本ゴールドディスク大賞委員会委員長に就任され、業界の発展のために、多大なるご尽力をいただきました。

謹んでご冥福をお祈り致します。

乙骨剛氏 逝去

元東芝 EMI 株式会社（現株式会社 EMI ミュージック・ジャパン）会長の乙骨剛氏が、10月7日に逝去されました。

乙骨氏は、1985年に東芝 EMI 株式会社代表取締役社長に就任、1997年からは取締役会長を務められました。

当協会におきましては、1992年4月から1994年3月まで会長を務められ、業界の発展のために、多大なるご尽力をいただきました。

謹んでご冥福をお祈り致します。

RIAJ2010年10月度理事会議案

■ 審議事項

1. 違法対策関連費用を予備費から支出する件

■ 名義使用申請に関する報告

1. 「AAA(Act Against AIDS)2010年度」
後援名義使用依頼の件
2. 「第3回レコチョコク LIVE」
協力名義使用依頼の件
3. 「MIDEM/JAPAN STAND2011」
後援名義使用依頼の件

■ 報告事項

1. 平成 22 年度上半期「重点施策進捗状況及び
予算執行状況」
2. 法制委員会関係報告
(1) SARVH 関係報告
3. 情報委員会関係報告
(1) 携帯サイト違法探索に関する総務省調査
研究事業の公募について
4. マーケティング委員会関係報告
(1) レンタル問題協議会開催報告（邦盤報
酬減額要求について）
(2) 第3回 CD ショップ大賞一次投票結果
について
5. 広報委員会関係報告
(1) 「守ろう大切な音楽をキャンペーン
2010」特別審査委員について
6. 日本ゴールドディスク大賞委員会関係報告
(1) 第25回日本ゴールドディスク大賞進
捗報告
7. その他報告
(1) 「音楽市場環境整備タスクフォース」の
設置について
(2) IFPI 中央理事会報告
(3) 「執行委員会・理事会」開催スケジュール
(4) JMG 関係報告

座談会

洋楽の魅力と新たな可能性を語る

近年、リマスター商品や、新人の活躍によって、盛り上がりを見せた洋楽市場であるが、若者の洋楽離れも囁かれ、更なるマーケット拡大の必要性を感じさせる状況となっている。

そのような状況の中、今月号では、洋楽に携わるさまざまな立場から、最近のマーケットやプロモーション傾向、また音楽ファンの洋楽に対する意識を分析し、今後何が必要となってくるかを探っていく。さらに、洋楽の熱きファンとして、その魅力、これからのあるべき姿を語る。



司会

ミュージックシェルフ編集部
(株式会社金羊社)
中村博久氏

レコードジャケット印刷を行う株式会社金羊社が主宰する音楽サイト、ミュージックシェルフ (<http://musicshelf.jp/>) の編集に携わる。



出席者

立教大学 社会学部
メディア社会学科 助教
田辺 龍氏

立教大学では、日本レコード協会の寄附講座を主宰。

私の洋楽体験
「中2でポリスを聴いて初めて、本当に漠然と、洋楽っていいな、と思ったところから、80年代を通じて聴いていました。高1でライブエイドの録画のため、初めて完聴したのもよい思い出です。」



株式会社 EMI ミュージック
ジャパン
Strategic & International
Marketing バイスプレジデント
マーケティング 1 部長
野口由香氏

洋楽マーケティングなどでキャリアを積み、現在、洋楽全般(ジャズ・クラシックを含む)の宣伝部の責任者を務める。

私の洋楽体験
「姉の影響で洋楽を聴き始め、クイーンをはじめ根っからの洋楽好きでした。高校、大学では、MTV で映像を見るようになり、さらに楽しみは深まりました。」



株式会社ワーナーミュージック・
ジャパン
インターナショナル・ストラテ
ジック本部 フロントライニン
グ ループ マネージャー
道島和伸氏

洋楽の宣伝部門から洋楽ディレクターへ。一貫して洋楽分野での業務に携わる。

私の洋楽体験
「80年代にティンエイジャーだったため、80'sの洋楽にどっぷり浸って、特にライブエイドは人生を変えた経験でした。ラッキーにも、この仕事に就いているという感じです。」



音楽評論家
chipmangoose 代表
村尾泰郎氏

タワーレコード梅田店スタッフとして勤務した後、同社発行のフリーペーパー「バウンス」編集部へ。その後フリーとして独立し、音楽誌、ファッション誌等に寄稿している。

私の洋楽体験
「80年代の洋楽全盛期が青春時代。MTV を夜通し頑張って見て、10代を過ごしました。洋楽には強い思い入れがあって、逆に今なぜ洋楽を若い人が聴かないのか、聞いてみたいですね。」

80年代、多彩で聴き飽きない洋楽が、世界を広げてくれた

中村 まずは皆さんのお考えになる洋楽の魅力をズバリ、伺いたいと思います。

田辺 自分の経験から、「音楽以外のジャンルに広がる」という魅力があります。僕は初めて「シンクロシティ」のアルバムを聴いたとき、その言葉の意味を知ろうと模索し、人生で初めて学術書を購入しました。そのように興味範囲が広がる上、英語の受験勉強にも役立つ利点もありました。あとファッションでも新しい世界が広がりました。僕は、都心から離れた山梨県で育ちましたが、洋楽はそこに、独特の文化を運んでくれたんです。

野口 曲のアレンジの素晴らしさや絶えず新しいものを追求する姿勢、そして何よりアーティストの個性からにじみ出るオリジナルなカラーがあって飽きさせない。音楽のクオリティ、ビジュアルイメージを含め、トータル的にワクワクさせられるのが洋楽の魅力だと思います。

村尾 80年代初頭、パンクやニューウェーブが現われて、アーティストごとの個性が際立ち、MTVなどでビジュアルに訴えるケースも増えていた。誰を聴いても面白く、人の知らないアーティストや情報を知りたいと思って、音楽雑誌を読んだり、新聞で情報を集めたりしていました。当時の洋楽は人気があって色んなアーティストが日本で紹介されました。アーティストは自分の奇抜なカラーを打ち出して、見ていて全然飽きなかったんですね。今では考えられないマイナーなアーティストの日本盤も出ていました。京都の田舎にいた僕にとって、ロンドンやニューヨークは遥かかなたの夢の世界。そこから届く唯一の情報だったから、洋楽はより一層輝きを増していたんでしょう。その中で初めて生中継されたライブエイドはすごく画期的な、洋楽ファンにとっては大イベントでした。

道島僕は群馬県出身です。面白いのは、田辺さん、村尾さんも語っていますが、やはりすごく憧れめいた意識があったんですね。僕はクリストファー・クロスのニューヨークシティセレナーデを小学校6年生頃に初めて聴いたんです。群馬の小学生がああイントロが鳴った瞬間、「あ、美しい世界がある」と感動でき、憧れられた。世界のどこかに、自分の知らない楽しい世界がある、明るい未来がある。そういう感じがしました。そしてライブエイドを見て本当にすごいと思った。洋楽に、非日常への憧れを皆感じたんじゃないでしょうか。時代が変わり、洋楽も身近になりすぎてしまったんですかね。アーティストも来て、情報もたくさん入って。60～80年代と比べると、今は、憧れ度は格段に少ないんじゃないですか。

田辺 ディスクそのものにも憧れていました。中高生の頃はCDへの移行期でしたが、初期から洋楽のアーティストはシン

グルのおまけにライブバージョンなどを入れていました。でもそのシングルCDは渋谷まで出ないと手に入らない。数カ月間に1度、小遣いを貯めて渋谷に行く、その憧れもありました。そういう意味でも遠かった。

野口 アートワークやジャケットも素敵なものが多くて。アナログ時代には、すごく素敵なジャケットで、今も忘れられないインパクトの強いものが多かった印象はあります。

道島 憧れを抱かれるアーティストは今もいます。ここ最近、レディー・ガガがいたり、ケシャがいたり、ケイティ・ペリーもそうですが、アメリカの音楽がポップ化していて、そういうスーパースターが出てきている。僕らの時代はマドンナやボン・ジョヴィと各ジャンルにスターがいました。新しいスターが出て、皆の憧れになれば市場は活性化する。ここ数年の状況は、かなり良い状況だと見ています。業界では結構暗い話もありますが、その理由は音楽のせいじゃなくて、どの業種にも共通する、少子化などの問題だと思います。未来は暗くなくて、音楽に関わる人が一生懸命頑張っていて、新しいスターをちゃんと日本で育てていければ、むしろ明るい。ここ数年は非常に明るい兆しがあると思いますよ。

変化する時代、洋楽の盛り上がり大切に

中村 さて最近の状況の話も出てきました。村尾さんは店頭やバウンス誌で、まさに一番ファンに近いところで販売したり、勧めたりしていましたが、そこでどういうことを感じていましたか。

村尾 バウンスは、あまり批評しない、得点をつけないという方針があって、紹介する音楽の良いところ、面白いところをできるだけ引き出そうという媒体で、そこはすごくユニークな良いところでした。何年か編集部において変わってきたのは、読者層がどんどん低年齢化していったことです。邦楽アーティスト、ヒップホップのアーティストというのがだんだんメインになってきて、そこからさらにアイドル系とかポップス系がメインになっていった。すると次第にロック的なものがどんどん縮小されていくという誌面の変化をダイレクトに感じましたね。

中村 そういう若い世代へのアプローチで大事なことは何でしょう。

野口 当社のケイティ・ペリーの購入者アンケートをチェックしてみると、10代が多いんですよ。メインターゲットは10代なんです。これだけ情報も多様化しているなかで、実績も挙げ、光は見えているなど実感しています。レディー・ガガなどのアーティストが台頭してきたおかげで、ある種の音楽



シーンが非常に活性化している。若者にアピールするためには、我々がアーティストのマーケットを見据えてプロモーションすることが非常に大事だと再認識しています。

田辺 スターの多様性、ジャンルの多様性はすごく重要です。僕の中学時代、ポリスをかっこいいと周りに言うのは、かなり背伸びした感じでしたが、中学生がすんなり受け入れられるものとして、後にボン・ジョヴィなども出てきました。ほかにビリー・ジョエルなど非常に入門編的なところから、ピンク・フロイドのような難解なものまでありました。間口があって中級編があって上級編があるという多様性こそが大事です。洋楽を聴く今の若者に聞いても、マニャックなバンドを、音楽雑誌等ですごいと目にして我慢して聴いていたなら、好きになったと言います。どの時代でも背伸びしてみたり、分かりやすかったり、いろんな音楽に触れられるのがいいですね。

村尾 レディー・ガガを今聴く女の子は、その後どういった洋楽アーティストを聴いていくのか。そこから始めて、背伸びしてでも色々な洋楽アーティストに広がればいいとは思いますが、背伸びしてまで聴きたい状況が、かつてはあったんですけど、今はあまりないのかも知れません。

野口 彼女たちは、アーティストの話題性や個性を見ているんじゃないかなと思うんですよね。生き方が好きとか、共有・共感できるキーワードがあるとか。それらを分かりやすく、音楽を届ける側が提示することも、若い世代には大事なのかなと思いますね。もちろん曲の良さが一番ですが。

道島 今アメリカもポップ化の傾向にあって、チャートが日本と非常に似てきている。イギリスは分かりませんが、アメリカで売れるものが日本でも受け入れられやすい状況になっています。だからむしろ洋楽は取り入れやすい、若い人に伝えやすい状況になってきていると感じています。

野口 昨年ビートルズ・ボックスを出したとき、発売日の0時に店頭販売をスタートしたのですが、10代の人も結構並んでいました。上の世代や邦楽アーティストの勧めで聴いてみたら、いろんなアレンジがあって面白い、改めて発見があった、という前向きな意見を伺うことができました。邦楽のアーティストを含めて一緒に聴こうよというアプローチ、体制を整えれば入ってもらいやすくなると感じました。

道島 ビートルズのような特別な存在は強いから、そういう資産を活用して若い人にアピールするというのは大事ですね。また一方で、カタログの開発、未発表音源の活用は結構やり尽くした感があって、何でもうまく回すのは難しい。やはり新しいスターの育成に全力を尽くさなければなりません。

音楽配信が変える洋楽マーケット

中村 少し話題を変えて。音楽配信が洋楽に与える影響は、どうですか。

野口 特にケイティ・ペリーなどは、配信の動きが良くて、邦・洋の総合チャートにも一緒に入るような推移で動いています。むしろ配信のほうが勢いはある。やっぱり曲が強いものは配信が強いし、ジャンルではポップなものが強いですね。ロックはそこまでいかない。

道島 ロックは全然ダメですよ。ポップス系、R&B系、特に女性が出る。アメリカでは売れていない、日本だけ、配信だけのポップアーティストもいます。

田辺 すると配信では、かつての洋楽シーン以上にシングルが重要な状況にあるんですか。

野口、道島 間違いなくシングルですね。

野口 とにかくシングルが強ければ、配信も上がりますので、それを話題にしてアルバムセールにつなげていきます。

道島 ただ、配信が上がる一方で、CDの低価格化が見受けられます。アメリカが配信ビジネス中心で動いていますから、日本もそれに合わせていくしかない。それが洋楽のここ数年の状況です。配信が全ての売上の中の50%以上を占めるレーベルもあり、当然パッケージもその影響を受けています。

野口 国内盤で出すときは付加価値をつけて価格を少し上げますよね。

道島 国内盤はすごい差別化を図らないと難しい。いわゆるヒットもののアーティストは配信中心になっていくでしょう。

多極化するリスナーにどうアプローチするか

中村 洋楽への意識や印象は、世代によって違うと思います。僕は勝手に3タイプ設定してみました。まず(A)ファッションに興味を持ったり、タイアップで耳にした曲を追いかけてたりする話題性で洋楽を聴く人たち。逆に30代後半以上だと思いますが、(B)カタログを掘り下げ、高音質も追求する人たち。そして、(C)自分が良いと思う曲を邦洋・ジャンル関係なく聴くというタイプがあるんじゃないか。そういう観点からのリスナーの意識を伺いたいと思います。

村尾 若い層で、音楽はダウンロードで聴く、データで聴くものだと思っている人たちの、モノに対する意識ってどうなっているのかなと思います。そういう人たちでも欲しくなるパッケージを作ることは可能なんじゃないかな。

田辺 僕は、若い人は中村さんの分類だと、(A)と(C)に二極化している印象があります。(A)は、音楽にかかわらずいろんな趣味を、本当にライトに広く浅く求める人で、こういう層は音楽も配信でいい。音楽自体さほど好きになってくれないタイプも一群いると思っています。今若い世代で洋楽に詳しい人は(C)が多いと思います。彼らは我々の世代のように洋楽を上に見る意識があまりなく、たまたま自分が良しとしたものの7~8割が洋楽だったという意識です。このフラット世代は、好きなアーティストをパッケージで買うんですよね。あと、生態は若干違いますけどAKB48やジャニーズのファンは(B)の人たちと同じ消費行動だと思います。

村尾 今の分析を踏まえて考えた場合、配信に対してパッケージを販売するのに、紙ジャケなど日本の職人技術を活かした、日本ならではのアプローチもあると思うんです。

野口 紙ジャケは日本の技術が素晴らしくて、日本から海外に輸出するレベルです。

道島 輸入盤の紙ジャケは、国内レコード店で厳しくチェックされるものだから、海外の供給元が、「日本にはもう出荷しない」と逆ギレするくらい。紙ジャケだけ作って輸出したこともあったほどです。

野口 プログレなどファンのいる市場では、紙ジャケで高音質商品のニーズがあると実感しています。

道島 セット商品ですごく販売力のあるものも出ますね。今は配信で聴くケースと、豪華仕様のボックス系を求めるケースに二極化した必要があります。

中村 もう一つの視点として、邦楽のアーティストが影響を受けた洋楽を、ファン層に知らせるような場合もありますね。ミュージックシェルフに出演いただいたアーティストの方々に



ルーツ音楽を推薦してもらいますが、若いアーティストにしても洋楽が結構選曲されています。

村尾 邦楽、洋楽、時間軸関係なく、いろいろな曲が混ざって入ってきていますね。

田辺 自分が影響を受けた洋楽をカバーする日本のアーティストの方も耳にします。それぞれのファンの若い人たちが聴いてくれるといい。情報流通の古典的な王道で、オピニオンリーダーがいてフォロワーに流れるというかたちですが、洋楽アピールには良い方法かも知れません。

メディアミックス時代のプロモーションとは

中村 そろそろプロモーションの話題も入ってきました。ラジオ、テレビ、専門誌、一般紙含めて昔より洋楽がかからない、洋楽情報が乏しくなった、とリスナーとして思ったりもするんですが……。

野口 大変なメディアミックスの時代に来ているかなと思いますね。ツイッターなど口コミのツールもものすごく増えて本当に多様化しているため、ジャンルやアーティストのターゲットにふさわしい局面をとらえ、連動させて掘り下げるマーケティングが必要な時代になったと感じます。

村尾 僕はライターという職業柄、音楽雑誌にも書かせていただきますが、今、音楽雑誌の弱体化が顕著です。その理由のひとつに、音楽専門誌が今はやりのポップ系のアーティストをうまく取り込めず、ファッション誌や一般紙の音楽コーナーの紹介に留まっていることがある。それはアーティスト側も媒体側にももったいない話です。雑誌のカラーがあって難しいのですが、何とかフォローする仕組みはできないかとも思います。



野口 調べてみると、お店のサイトで情報を入手する人も多いですね。お店のサイトは充実していて全てが網羅されている。

村尾 お店のサイト、お店が提供する媒体は音楽批評の場ではないんです。こういうアーティストがいますよと紹介することは

あっても、そこからより広げるだけの状況をなかなか用意できない、受け身で広告のメディアとして成り立っているのです。そこで新しく入った洋楽のリスナーはどうしても一過性のものを消費していただくだけになりがちなのところはあります。

田辺 ある作品を批評する言語というものに対して興味を持ってないと、やっぱりそのジャンルに深く入って行く道は閉ざされる。

村尾 やはり、音楽とリスナーの間に、きちんとした批評性や情報を提供できる媒体が介在することで、音楽文化がより豊かになっていくと思うんです。

道島 今は即時にネットにつないで情報を取りに行く時代だから、1カ月間も雑誌を待ってられない。自分の担当アーティストのファンの10代の子たちを集めて聞きますが、コアな子は自分で情報を取りに行くんですよ。コアなファンがそうなってしまうと紙媒体は難しい。でも逆にそういうコアなファンばかりじゃないので、テレビほかいろんな場で、情報をふくらませて広げなきゃいけないと思うんですけど。

田辺 自分が情報発信源になるんですよ、ツイッターとかでつぶやいて。



野口 ブログに貼り付けてみたり。

道島 すると皆1回フィルター掛けてからモノを買うパターンが基本的に多くなる。

中村 プロモーションという意味ではダブルパンチですね。まず情報量が増えて、必要な情報に接しに

くい。さらに商品についての書き込みなども調べられるので購入判断のハードルも上がっている。

道島 当然マーケティングもやるのがすごく増えてきます。

野口 今までの媒体に加えて、ネットのインフラに乗せるものがものすごく多い。でも全部やったからといって、うまく伝わるとは限りませんから、修正も必要です。また雑誌に戻れば、最近では、女性ポップ系アーティストはセレブ系ゴシップ雑誌で取り上げられると反応が良く、訴求率が高い事が購入者アンケートでわかりました。

村尾 アーティストへの憧れや興味が、そのまま雑誌に反映されていますよね。音楽に対する興味以上に、アーティストに共感したい、絆を感じたいというリスナーにとっては、レビューよりもゴシップの方が断然楽しいですから。

道島 一方でしっかりした批評性の高い雑誌は、辛口の姿勢を強めるのもいいと思いますよ。その方が若い人たちにも伝わるし、読んでも面白い。



リアルなレコード店は、出会いの場

田辺 レコード店は体力が落ちたといいながらも、がんばっているところもある。

道島 今は配信やネット通販があるから、本当に大変だと思います。

村尾 第三者との接点なく音楽を聴くスタイルができていますよね。でも音楽を聴く楽しみは、店員とのお喋りから情報を得たり、偶然店で見つけたアルバムが気に入ったりとか、場所や人との交流から広がるもの。それがなくなってきたのは寂しい。

田辺 かつてはパーソナルなコミュニケーションで教えたり、教えられたりして音楽に触れていきました。

野口 その出会いを演出する場はリアルなレコード店だったんですよ。

田辺 お店でかかっている音楽に、興味がわくこともありました。

道島 とはいえ、モバイルでも何でも洋楽を少しでも聴いてくれれば、将来性は出てきます。どんなかたちでもいいから、洋楽を聴いてもらうことが大事です。だからあの手この手でアピールしなきゃいけない。

これからの洋楽シーンへ



中村 皆さんのお話を聞き、洋楽は低迷しているわけではなく、ある種、非常に盛り上がる要素があると改めて思いました。ヒントもたくさんいただきました。最後に今後の洋楽シーン、マーケットで何をすべきかを伺います。

野口 やはりシングルヒットを作ることが突破口になります。そのためには媒体とも協力して、ターゲットへしっかり情報を伝える努力も必要です。洋楽を身近に伝えるプロモーションを考えたいですね。

道島 レーベル同士の協力も大切にしたい。たとえば新人アーティストの合同フェスで、10代の子が洋楽に触れる機会

を作れたらいいなと思っています。今までにない新しいムーブメントとして、一緒に取り組んで新人を見せられれば面白い。「マイ・ファースト・洋楽」をテーマに、親子でも参加できる敷居の低いアーティストフォーラムのイメージですね。



村尾 今も海外には面白いアーティストはたくさんいます。そういうシーンを日本で紹介していただければいいですね。そのためにも、音楽媒体の可能性を探る取り組みが盛り上がってほしい。そして40代の洋楽世代はもちろん、10代の多感な若者達に向けても、音楽の楽しみ方を提案していきたいと思います。洋楽を知ることで、邦楽をもっと楽しむことができますからね。

田辺 僕がここ10年で新しく知ったアーティストは、ほとんど学生経由でした。彼らの世代から情報を教えてもらったわけですね。そのように古い知識を持つ我々と、新しい知識を持つ若い人たちが、パーソナルな関係の場で相互に交換していける機会をつくってほしい。「好きなものは好き」という思いを世代間で共有できればいいな、と思っています。
(本文敬称略)

立教大学寄附講座

公開シンポジウム「メジャーレーベルプロデューサーが語る音楽シーンの魅力」開催

当協会では今年度、立教大学社会学部に設置している寄附講座「音楽をめぐるビジネスと法」において、公開シンポジウムを実施する。

このシンポジウムでは「本当に今の若者は洋楽を聴かなくなったのか？」という観点から、メジャーレーベルのプロデューサーを講師に招き、学生たちに洋楽の魅力を伝えるとともに、イヤフォン・ヘッドフォンではなく「いい音」で音楽を聴くことなど、音楽の様々な「味わい」、「楽しみ方」を紹介していく。また、講師と学生代表のパネルディスカッションを実施し、学生の音楽との関わり方についても掘り下げていく。

公開シンポジウムの実施要綱は下記の通り。

日 時： 2010年11月12日（金）午後6時30分～8時30分

場 所： 立教大学池袋キャンパス 11号館AB01教室

テーマ： 「メジャーレーベルプロデューサーが語る音楽シーンの魅力」

講 師： ユニバーサル ミュージック合同会社

ユニバーサル インターナショナル マネージング・ディレクター 加藤公隆氏

株式会社ソニー・ミュージックジャパン インターナショナル マーケティング1 部部長 中武宣廣氏

PICK UP

今月のニュース・ピックアップ



全国CDショップ店員が選んだ 売りたい! 聴かせたい! 作品No 1/

第3回CDショップ大賞

行かなきゃ 会えない 音がある。

概要

CDショップ大賞は、全国のCDショップ店員の投票だけで選ばれる賞です。いま音楽を取り巻く様々な課題がある中、CDショップの現場から、もっと音楽を盛り上げていくために設立されました。メジャー、インディーズを問わず過去1年間に発売された作品を対象とします。第3回CDショップ大賞の選考基準は、基本的に、第1回第2回開催のCDショップ大賞を踏襲しています。

選考基準

一人でも多くの人にCDショップに来ていただきたい、その人にとって未知の音楽や大切な音楽に出会って欲しい、そういう願いのもと、CDショップ店員が「この作品を心から売りたい」「お客様に絶対聴いてもらいたい」と感じる作品を選考します。一般の音楽ファンの方々に、これまで知らなかった素晴らしい作品、アーティストとの出会いをもたらすような賞でありたいと考えています。

選考対象

2009年11月1日～2010年10月31日までにリリースされた邦楽オリジナルアルバム(ベスト盤を除く)

投票資格者

新譜を扱うCDショップの店員(アルバイト、パートも含む)

選考方法(二次投票制)

一次投票 2010年10月4日(月)～18日(月)

- 一次投票は1人3作品選んで投票します。
- 一次投票の集計により、上位20作品を「ノミネート作品」として、二次投票対象とします。
- 可能な限り3作品投票。
- 票数同点の場合は、20作品を越える場合もあります。
- 第3回CDショップ大賞では、投票する作品には、原則として200文字以上のコメントを必ず記入することとしました。記入の無い投票は無効とします。



第3回CDショップ大賞ノミネート作品及び地方賞決定

二次投票 2010年11月10日(水)～22日(月)

- 投票者は一次投票で選ばれた「ノミネート作品」を全部聴いた上で投票します
- 上位3つの作品に、順番をつけて投票を行います
- 投票換算はポイント制 1位=4point 2位=2point 3位1point
- また、第3回CDショップ大賞では、地方賞の受賞作品と第一次投票の入賞作品を、ともに第二次投票の選考対象とします。

投票方法 以下の3つの方法で投票が行えます。

WEB <http://www.cdshop-kumiai.jp/cdshop-taisho/>

携帯 チラシ掲載のQRコード、あるいは<http://m.cdshop-kumiai.jp/>へアクセスしてください。

FAX チラシ裏面の投票用紙を使用。もしくは専用投票用紙をダウンロードしてお使いください



洋楽賞

【選考対象】2009年11月1日～2010年10月31日までにリリースされた、オリジナル楽曲で構成された洋楽アルバム(国内盤のみ/ベスト盤、再発売を除く) ※その他の選考基準、投票プロセス、投票方法などはCDショップ大賞に準じます。

地方賞

全日本CDショップ店員組合の活動は、いま全国に広がり、各地にブロックごとの集まりなどが生まれています。そのブロックごとに、その地域ゆかりのいちおしアーティストを「地方賞」として発表します。

5社10人以上CDショップ店員が集まった地域は、地域支部として認定されます。地方賞の選考方法などは、それぞれの地域ブロック支部が決定するものとします。地域ゆかりのアーティストの定義は「その地域出身」または「その地域で活動している」アーティストとします。

第3回CDショップ大賞においては、地方賞受賞作品をCDショップ大賞の第一次投票で出たノミネート作品と共に第二次投票の選考対象とします。地方賞への参加お問合せは、当チラシ下段の事務局まで。

発表/授賞式

2011年1月中旬予定
※受賞アーティストの出演、演奏を予定しています。

その他・お問合せ先

全日本CDショップ店員組合 CDショップ大賞実行委員会事務局

〒106-0031 港区西麻布4-16-7 ハウス西麻布201 NPO法人ミュージックソムリエ協会内
TEL: 03-3499-5633 (担当・吉川) FAX: 03-3499-3117 cdshop-taisho@cdshop-kumiai.jp

協賛

MEMORY-TECH



KINYOSHA PRINTING CO., LTD
<http://www.kinyosha.co.jp>

PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

PICK UP

第3回 CD ショップ大賞ノミネート 25 作品決定!

【CD ショップ大賞 (邦楽)】 17 作品 (アーティスト名五十音順)

アーティスト	タイトル
andymori	ファンファーレと熱狂
9mm Parabellum Bullet	Revolutionary
黒猫チェルシー	猫 Pack
さかいゆう	Yes!!
サカナクション	kikUUiKi
Salyu	MAIDEN VOYAGE
The Mirraz	TOP OF THE FUCK'N WORLD
神聖かまってちゃん	友だちを殺してまで。
school food punishment	amp-reflection
世界の終わり	EARTH
ナオト・インティライミ	Shall we travel??
七尾旅人	billion voices
ねごと	Hello! "Z"
秦基博	Documentary
FAT PROP	THE DIE IS CAST
星野源	ばかのうた
モーモールルギャバン	クロなら結構です

【地方賞】 8 作品

アーティスト	タイトル	備考
サトウヨシアキ	cacoi	北海道ブロック
ソソソソ弁当箱	ロマンの日本	東北ブロック
SuiseiNoboAz	SuiseiNoboAz	関東ブロック
Coba-U	童謡レゲエ II	甲信越ブロック
小林太郎	Orkonpood	東海ブロック
chaqq	Pleasure	関西ブロック
simploop	unlock	中国・四国ブロック
awamok	ミチノセカイ	九州ブロック

PICK UP

オーディオ&ホームシアター展 開催

11月21日から23日にかけて、(社)日本オーディオ協会主催による「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO」が開催される。本イベントは、日本のオーディオ文化の発展・普及を目的とするもので、当協会も後援として参加し、高品質 CD 等のブースを設け、いい音で音楽を楽しむことの魅力を伝えていく。

主な開催概要は下記の通り。

名 称：オーディオ&ホームシアター展 TOKYO

会 期：2010年11月21日(日)～11月23日(火)

21日(日) / 10:00～19:00 22日(月) / 10:00～19:00 23日(火) / 10:00～17:00

会 場：秋葉原 UDX：アキバスクエア、UDX マルチスペース、UDX シアター

富士ソフト：アキバプラザ他

主 催：オーディオ&ホームシアター展 TOKYO 実行委員会

後 援 団 体：経済産業省、千代田区、(社)電子情報技術産業協会、日本放送協会、一般社団法人日本レコード協会、(社)日本民間放送連盟、(社)インテリア産業協会、(社)デジタル放送推進協会、(社)日本映像ソフト協会、(社)日本音響学会、(社)日本音響材料協会、(社)日本記録メディア工業会、日本舞台音響家協会、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(順不同)

特別協賛団体・企業：秋葉原電気街振興会、(株)エディオン EAST カンパニー、(株)コジマ、(株)ヨドバシカメラ(順不同)

協賛団体・企業：秋葉原タウンマネジメント(株)、秋葉原駅前商店街振興組合、秋葉原駅前電気商連合会、(株)音楽出版社、(株)音楽之友社、(株)音元出版、(株)共同通信社、(株)ステレオサウンド、(株)誠文堂新光社、(株)電波新聞社

<http://www.oto10.jp/>

PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

PICK UP

IFPI 中央理事会開催

10月1日、イギリス・ロンドンにおいて、IFPI（国際レコード産業連盟）中央理事会が開催された。

この度の中央理事会は、ジョン・ケネディ前会長に代わって6月から新会長に就任したフランシス・ムーア氏が議長を務める初めての会議であり、4メジャー社の代表、主要地域のIFPI支部の代表ら26名が出席した。当協会からは石坂会長と畑事務局次長が出席した。

会議において最も時間をかけて議論されたのは、繰り返し違法行為を行う権利侵害者に対する Graduated Response（3ストライク等の段階的処置）導入に関するテーマであった。既に3ストライク制を導入したフランスや韓国における運用状況や音楽セールスに対する好影響などが報告され、今後世界各国での導入促進に向けた国際レベル、各国レベルでの取り組みなどについて議論された。その他、インターネット違法対策の進展、アメリカにおける放送権や中国におけるレコ

ード演奏権法制化に向けた取り組み、EUにおけるレコード保護期間延長の検討状況など、多岐にわたる重要テーマについて議論された。

また、今回は日本における重点テーマ等に関する意見交換会が別途開催され、4メジャー社の代表とIFPIムーア会長が出席した。これは、日本の音楽市場の現状と当協会が重点的に取り組みを行うテーマについて共通理解を得ることを目的としたものであり、当協会からは、①違法対策強化のための法制度の検討、②音楽需要の拡大施策の推進、③レコード使用料収入の拡大の3点について説明した。出席者からは日本における3ストライク制導入の検討状況等について質問と意見が出された。

次回の中央理事会は、3月にニューヨークで開催される予定である。

PICK UP

「Graduated Response」と「スリーストライクルール」を考えるフォーラム 当協会高杉理事がパネリストとして参加

10月21日、東京都港区の六本木アカデミーヒルズにおいて、モーショントピクチャー・アソシエーションおよび一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）の主催による『「Graduated Response」と「スリーストライクルール」を考えるフォーラム』が開催された。

「オンライン侵害に対する日本の取り組み」をテーマとしたパネルディスカッションでは、遠山友寛弁護士をモデレーターに、（株）ティ・ジョイ常務取締役 與田尚志氏と当協会 高杉健二理事・事務局長がパネリストとして出席し、映画および音楽業界のオンライン侵害に対する取り組み、本年1月施行の改正著作権法30条の影響などについて説明が行われた。引き続き行われた「オンライン侵害に対する海外の取り組み」をテーマとしたディスカッションには、Association de Lutte contre la Piraterie Audiovisuelle 会長 ニコラ・セドゥ氏（フランス）、MPA ヨーロッパ地域代表 マネージングディレクター クリストファー・マーシッチ氏（英国）、映画プロデューサー ナンスン・シ氏（香港）、映画俳優 デムエラ・モリソン氏（ニュージーランド）の4名がパネリストとして

出席し、海外における映画・音楽の違法な配信への対策、フランスや韓国で導入されている「Graduated Response（段階的処置）」といわれる新たな法制度でのアプローチについて説明が行われ、日本の関係者は、興味深く聞き入っていた。



PICK UP

音楽議員連盟 第35回定時総会開催

10月5日、東京都千代田区の衆議院第一議員会館において、音楽議員連盟第35回定時総会が開催された。音楽議員連盟は、音楽、演劇、映画等の我が国の芸術・文化振興に向けた諸課題に取り組むため、1977年11月の結成以来、1984年の「貸レコード暫定措置法」の施行、2001年の「文化芸術振興基本法」の議員立法での成立など、文化芸術立国に向けて、大きな成果を上げてきた。

総会では新役員を選任・承認が行われ、新たに設けられた幹事長には横光克彦議員が就任し挨拶が行われた。引き続き、文化芸術推進フォーラム野村萬議長より挨拶が行われ、各権利者団体より、「芸術団体によるフォーラムの開催」、「もっと文化を！キャンペーンへの協力要請」、「文化芸術立国を実現するための請願活動」、「映画監督の著作権付与」、「劇場法の制定」などについて、要望事項が述べられた。当協会の石坂会長からは、「インターネット上の違法な音楽流通撲滅対策」、「日本音楽の海外へのライセンス促進」などを中心に意見要望を行った。これら要望を受け、中野寛成会長をはじめ出席議員からは、前向きに取り組む協力していく意向が示された。

■ 総会出席議員 (敬称略)

会長	中野 寛成	民主党
幹事長	横光 克彦	民主党
副会長	河村 建夫	自民党
副会長	斉藤 鉄夫	公明党
副会長	市田 忠義	共産党
副会長	服部 良一	社民党
副会長	川越 孝洋	民主党
	松崎 哲久	民主党
	今村 雅弘	自民党
	川田 龍平	みんなの党
事務局長	築瀬 進	前衆議院議員



PICK UP

フォーラム「文化芸術を国の政策の基本に～心豊かな国、世界に誇れる国へ～」開催

10月19日、東京都千代田区のグランドプリンスホテル赤坂において、(社)日本芸能実演家団体協議会、音楽議員連盟主催によるフォーラム「文化芸術を国の政策の基本に～心豊かな国、世界に誇れる国へ～」が開催された。冒頭、文化芸術推進フォーラムの議長を務める野村萬(社)日本芸能実演家団体協議会会長と音楽議員連盟の会長を務める中野寛成衆議院議員より挨拶が行われた。その後、文化・芸術関係者からの現状報告があり、当協会石坂会長は、音楽産業を代表して、意見を述べた。それらを受け、各党の代表が各々の考えを表し、会は盛況のうちに幕を閉じた。



フォーラムの参加者は下記の通り。(敬称略)

- [開会挨拶] 野村 萬 (社団法人日本芸能実演家団体協議会 会長 / 文化芸術推進フォーラム 議長)
中野 寛成 (衆議院議員 / 音楽議員連盟 会長 / 民主党)

- [来賓] 高木 義明 (文部科学大臣)
[意見交換] 福島 明夫 (演劇製作者 / 社団法人日本劇団協議会専務理事)
仲道 郁代 (ピアニスト)
牧 阿佐美 (新国立劇場バレエ研修所 所長 / 前同劇場 舞踊 芸術監督)
三遊亭 小遊三 (落語家 / 社団法人落語芸術協会 副会長)
吉井 澄雄 (照明家 / 社団法人日本照明家協会 名誉会長)
石坂 敬一 (一般社団法人日本レコード協会 会長)
枝野 幸男 (衆議院議員 / 音楽議員連盟 副会長 / 民主党)
河村 建夫 (衆議院議員 / 音楽議員連盟 副会長 / 自民党)
斉藤 鉄夫 (衆議院議員 / 音楽議員連盟 副会長 / 公明党)
市田 忠義 (参議院議員 / 音楽議員連盟 副会長 / 共産党)
服部 良一 (衆議院議員 / 音楽議員連盟 副会長 / 社民党)
川田 龍平 (参議院 / みんなの党 / 音楽議員連盟)
宮本 岳志 (衆議院 / 共産党 / 音楽議員連盟)
浜本 宏 (衆議院 / 民主党 / 音楽議員連盟)
吉田 大輔 (文化庁次長)
吉本 光宏 (文化審議会文化政策部会委員 / ニッセイ基礎研究所)
平田 オリザ (劇作家・演出家 / 内閣官房参与)

Monthly Production Report

2010年9月度レコード生産実績

9月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比77%の1,932万枚・巻、金額で同71%の227億円となりました。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比83%の1,574万枚・巻、金額で同76%の175億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比57%の359万枚・巻、金額で同57%の52億円となっています。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			9月実績						2010年1月～2010年9月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シ	8cmCD	邦	13	0	227%	4	0	172%	93	0	162%	32	0	105%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	14%	0	0	41%
		計	13	0	229%	4	0	174%	94	0	155%	32	0	104%
ン	12cmCD	邦	4,130	26	152%	3,298	19	154%	38,223	25	115%	28,590	18	111%
		洋	36	0	297%	26	0	281%	232	0	87%	171	0	109%
		計	4,165	26	153%	3,324	19	154%	38,456	26	115%	28,761	18	111%
ル	小計	邦	4,143	26	152%	3,302	19	154%	38,317	25	115%	28,621	18	111%
		洋	36	0	298%	26	0	282%	233	0	86%	171	0	109%
		計	4,178	27	153%	3,328	19	154%	38,549	26	115%	28,792	18	111%
12cmCD アルバム	邦	7,256	46	73%	9,752	56	71%	80,847	54	94%	102,607	63	89%	
	洋	4,039	26	69%	4,118	24	60%	28,446	19	84%	28,203	17	69%	
	計	11,295	72	71%	13,871	79	68%	109,293	73	91%	130,811	81	83%	
CD 合計	邦	11,399	72	90%	13,054	75	83%	119,164	79	100%	131,229	81	93%	
	洋	4,074	26	69%	4,144	24	60%	28,678	19	84%	28,374	18	69%	
	計	15,473	98	83%	17,199	99	76%	147,842	98	96%	159,603	99	87%	
アナログ ディスク	邦	5	0	221%	8	0	262%	46	0	101%	75	0	82%	
	洋	-1	-	-	-3	-	-	25	0	80%	41	0	76%	
	計	4	0	61%	5	0	56%	71	0	92%	116	0	80%	
カセット テープ	邦	232	1	78%	207	1	81%	2,246	1	77%	1,769	1	79%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
	計	232	1	78%	207	1	81%	2,246	1	77%	1,769	1	79%	
その他	邦	20	0	218%	33	0	484%	130	0	81%	153	0	94%	
	洋	8	0	54%	15	0	70%	119	0	104%	169	0	81%	
	計	28	0	119%	48	0	169%	249	0	90%	322	0	87%	
合 計	邦	11,657	74	89%	13,302	76	83%	121,585	81	99%	133,226	82	93%	
	洋	4,081	26	69%	4,157	24	60%	28,823	19	84%	28,584	18	69%	
	計	15,738	100	83%	17,459	100	76%	150,408	100	96%	161,810	100	87%	

● 音楽ビデオ

			9月実績						2010年1月～2010年9月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,080	86	55%	4,527	86	56%	29,648	89	79%	36,710	89	95%	
	洋	466	13	70%	561	11	70%	3,174	10	79%	3,172	8	56%	
	計	3,546	99	57%	5,088	97	57%	32,822	99	79%	39,882	97	90%	
テープ・その他		40	1	94%	155	3	89%	414	1	133%	1,442	3	173%	
合 計	邦	3,115	87	55%	4,666	89	56%	29,988	90	80%	37,900	92	96%	
	洋	471	13	70%	577	11	71%	3,248	10	81%	3,425	8	60%	
	計	3,586	100	57%	5,243	100	57%	33,236	100	80%	41,325	100	91%	

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			9月実績						2010年1月～2010年9月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			15,738	81	83%	17,459	77	76%	150,408	82	96%	161,810	80	87%
音楽ビデオ			3,586	19	57%	5,243	23	57%	33,236	18	80%	41,325	20	91%
合 計			19,324	100	77%	22,702	100	71%	183,644	100	93%	203,135	100	88%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			9月実績						2010年1月～2010年9月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			9,157	93	90%	13,906	86	81%	68,018	92	90%	115,168	86	89%
テープ・その他			707	7	218%	2,279	14	192%	5,593	8	306%	18,579	14	258%
合 計			9,864	100	94%	16,185	100	88%	73,610	100	95%	133,747	100	98%

● オーディオ/ビデオ合計

			9月実績						2010年1月～2010年9月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			15,738	61	83%	17,459	52	76%	150,408	67	96%	161,810	55	87%
ビ デ オ			9,864	39	94%	16,185	48	88%	73,610	33	95%	133,747	45	98%
合 計			25,602	100	87%	33,644	100	81%	224,019	100	96%	295,557	100	92%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● トリプル・プラチナ

綾小路きみまろ 爆笑スーパーライブ第2集! ガンバッテいただきたいの…	綾小路きみまろ	2006.01.25	TE
--	---------	------------	----

● プラチナ

Wildflower & Cover Songs:Complete Best TRACK 3'	Superfly	2010.09.01	WJ
---	----------	------------	----

● ゴールド

Keep The Beats ! Request The… BPM crossroad L LIVE BORDERLESS	Girls Dead Monster JUJU JUNSU / JEJUNG / YUCHUN 堂本光一 浜崎あゆみ 浜崎あゆみ NEWS 氷室京介	2010.06.30 2010.09.29 2010.09.08 2010.09.01 2010.09.22 2010.09.29 2010.09.15 2010.09.08	SV AI AMI JE AMI AMI JE EMI
--	---	--	--

シングル

● ダブル・プラチナ

Love Rainbow	嵐	2010.09.08	JA
--------------	---	------------	----

● プラチナ

もっと強く	EXILE	2010.09.15	AMI
-------	-------	------------	-----

● ゴールド

クオリア 夫婦一生 GENIE Naked arms / SWORD SUMMIT 人生みちづれ 虹色のバイヨン 人恋酒場	UVERworld 北島三郎 少女時代 T.M.Revolution 天童よしみ 氷川きよし 三山ひろし	2010.09.15 2010.01.01 2010.09.08 2010.08.11 2010.02.17 2010.08.25 2009.06.03	SR CR UM ES TE C CR
---	--	--	---------------------------------------

ビデオ

● ゴールド

THANKSGIVING LIVE IN DOME Hey! Say! 2010 TEN JUMP	JUNSU / JEJUNG / YUCHUN Hey! Say! JUMP	2010.09.08 2010.09.15	AMI JA
--	---	--------------------------	-----------

洋楽

アルバム

● ゴールド

ア・サウザンド・サンズ	リンキン・パーク	2010.09.15	WJ
-------------	----------	------------	----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®, 着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AI: ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ / AMI: エイベックス・マーケティング / C: 日本コロムビア / CR: 日本クラウン / EMI: EMI ミュージック・ジャパン / ES: EPIC レコードジャパン / JA: ジェイ・ストーム / JE: ジャニーズ・エンタテインメント / K: キングレコード / PC: ポニーキャニオン / SE: エスエムイーレコーズ / SI: ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル / SR: ソニー・ミュージックレコーズ / SV: ビジュアルアーツ / アニプレックス / TE: テイチクエンタテインメント / TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ / UM: ユニバーサルミュージック / WJ: ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信(「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

「着うた®」

邦楽

● トリプル・プラチナ

もっと強く	EXILE	2010.07.21	AMI
-------	-------	------------	-----

● ダブル・プラチナ

VICTORY	EXILE	2010.04.08	AMI
---------	-------	------------	-----

「着うたフル®」

邦楽

● トリプル・プラチナ

Best Friend	西野カナ	2010.02.17	SE
-------------	------	------------	----

● ダブル・プラチナ

やさしさで溢れるように	JUJU	2009.02.04	AI
if	西野カナ	2010.07.28	SE

● プラチナ

みんな空の下	絢香	2009.07.01	WJ
もっと強く	EXILE	2010.09.08	AMI
ヘビーローテーション	AKB48	2010.08.04	K
月光	鬼束ちひろ	2004.12.08	EMI
STAY	コブクロ	2009.07.15	WJ
赤い糸	コブクロ	2008.11.19	WJ
蛍	福山雅治	2010.07.28	UM

● ゴールド

夢を味方に 小さな恋のうた キミがいる トイレの神様 好きで、好きで、好きで。 YELL ~エール~ 虹 Alright !! My Best Of My Life Wildflower INVOKE 一番綺麗な私を MOON 575 VOICE NO, Thank You ! Utayuo !! MIRACLE	絢香 新垣結衣 いきものがかり 植村花菜 倅田来未 コブクロ コブクロ Superfly Superfly Superfly T.M.Revolution 中島美嘉 浜崎あゆみ Perfume Perfume 放課後ティータイム 放課後ティータイム	2009.04.15 2009.11.06 2010.08.11 2010.07.14 2010.09.15 2006.09.29 2009.04.15 2009.06.03 2009.05.13 2010.09.01 2006.03.08 2010.08.04 2010.07.14 2010.07.13 2010.08.18 2010.08.04 2010.08.04	WJ WJ ES K AMI WJ WJ WJ WJ WJ ES AI AMI TJC TJC PC PC
---	--	--	---

洋楽

● ゴールド

ミスター オープン・アームズ	KARA ジャーニー	2010.08.11 2004.11.04	UM SI
-------------------	---------------	--------------------------	----------

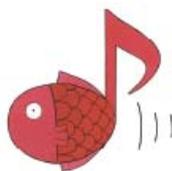
※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

本誌9ページでもご紹介しておりますが、第3回CDショップ大賞が実施されます。このCDショップ大賞は全国のCDショップ店員の投票だけで選ばれる賞で、メジャー、インディーズを問わず、過去1年間(2009年11月1日～2010年10月31日)に発売された作品を対象としています。発表、授賞式につきましては、2011年1月中旬を予定しています。



Respect
our MUSIC



「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーン
キャラクター部門グランプリ授賞作品
守りタイ

THE RECORD No.612 2010年11月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一
編集人 水村 雅博
発行日 2010年11月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510 (代) FAX. 03-6406-0520 (代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

今月号の特集では、さまざまな立場で洋楽に携わる方々にご参加いただき、座談会を実施しました。近年の洋楽シーン、プロモーション方法、音楽ファンの意識など、ビジネス的な要素もさることながら、洋楽ファンとして、感化されたきっかけやその魅力を伝える熱い語り口はとても興味深いものでした。6ページにわたり座談会の様子を掲載しております。ぜひご覧下さい。